

都市再生整備計画(第2回変更)

あ ら お し ゆ う へ ん
荒尾周辺地区

愛知県 と う か い
東海市

平成26年1月

・様式は、A4長辺側を、2箇所ホチキス留めすること。

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	愛知県	市町村名	とうかい 東海市	地区名	荒尾周辺地区	面積	414 ha
計画期間	平成	21	年度	～	平成	25	年度
				交付期間	平成	21	年度
					平成	25	年度

目標

《郷土の文化と元気が調和した健康で快適に暮らせる緑豊かなまち》
 「歴史資源である平洲と大仏を訪ねる花の道づくり」
 「多世代住民の交流に向けた、心地よく健康に暮らすことができる住環境づくり」
 「まちの魅力維持・醸成に向けた市民参加の環境づくり」

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

本地区は、伊勢湾岸自動車道と国道247号に囲まれた住宅地である。

地区北部では高度経済成長期に住宅地開発がされ、近年はまちづくり総合支援事業や、まちづくり交付金などの支援策を活用して、地区中部～南部で土地区画整理事業等による住宅地化が行われている地区である。

平成16年度に採択された「荒尾周辺地区 都市再生整備計画」では、「交通網、交通結節点の整備改善等に併せた良好な住環境づくり」を目標として、まちづくりを進めてきた。
 具体的には、名古屋近郊の住宅地としての利便性を向上させるために土地区画整理事業による宅地供給の他に、駅前広場の整備や自転車駐車場の整備、幹線道路の整備等を行っている。

この影響もあり、安定的な人口増加が進んでいるとともに、地区内の幹線道路沿いには大型店舗などが立地し始めており、将来は本市北部の商業拠点としての機能も期待されている地区である。

地区内には、住宅地でありながらも、まちのシンボルである聚楽園の大仏や、著名な儒学者である細井平洲を紹介する平洲記念館などの地域資源も多く点在する。

課題

まちづくり交付金の事後評価を実施していく中で、一定の成果は上がってきたものの、以下の課題が発生してきている。

- (1)本地区周辺には聚楽園公園などが立地しているものの、地区内の公園が未整備である。安定して人口増加が進むなかで、良好な住宅地の形成のために、緑あふれる地区づくりを進める必要がある。
 (2)近年、本地区はニューファミリー向けの住宅地として、まちづくり交付金を投入することで整備が進んできたが、地域の文化などの独自性や旧来からの住民(高度成長期から居住する団地住民など：特に高齢化が進展)との交流が薄れつつある。少子高齢化・核家族化が進むなか、他都市と同様の都市近郊のニュータウンとして埋もれないために独自性と地区内の新旧住民間の交流機会の創出が必要である。

将来ビジョン(中長期)

【東海市総合計画(平成16年3月策定、平成25年目標)】

「活気のある市街地をつくる」～市民が安心して暮らせる快適な生活基盤をつくる。また、民間活力による開発事業とのバランスをとって、活力ある市街地づくりを進めます。

【東海市都市計画マスタープラン(平成16年3月策定、平成22年目標)】

「土地区画整理事業の推進による良好な環境を有した住宅地の形成」 「花・水・緑の基幹軸の形成に向けた中川沿いの整備」 「名鉄聚楽園駅前の交通結節点の整備」

【荒尾周辺地区将来ビジョン(平成20年3月策定、平成30年目標)】

「郷土の文化と元気が調和した家族が快適に暮らせる緑豊かなまち」(1)子育て世代向けの良好な居住環境づくり (2)日々の暮らしを快適にする生活環境づくり (3)東海市に住んで良かったと思える豊かな教育環境づくり

目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値		目標値	
					基準年度		目標年度
郷土の歴史などに愛着を持っている人の割合	%	本市が毎年1月に実施している、「市民生活の現状についてのアンケート」で、該当する小学校区内に居住する住民が、左記の問いに対して「はい」と回答した割合	地域の独自性の創出を示す指標	49.6	H19	49.6	H25
まちの公園・街路樹などに満足している市民の割合	%		緑あふれる地区づくりが、点的・線的に認知されたかどうかを示す指標	57.6	H19	65.0	H25
市内を車で移動するときにスムーズに出来ていると思っている人の割合	%		都市基盤整備が良好な住環境形成につながったかどうかを示す指標	64.9	H19	75.4	H25
子供の教育について学校・家庭・地域の連携が十分だと思える人の割合	%		ニューファミリー向けの住宅地として多世代住民の交流が進んでいるかどうかを示す指標	24.5	H19	40.0	H25
地区内の公園面積	ha	3月末日時点における地区内公園・緑地面積	緑の空間を定量的に示す指標	31.1	H19	31.4	H25

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>歴史資源である平洲と大仏を訪ねる花の道の整備</p> <p>・土地区画整理事業を核として一定の都市基盤整備が進むなか、他都市との差別化を図り、魅力あふれるまちにしていきたいために、「東海市に住んでよかったと思える豊かな教育環境づくり」を目指す。このため地域資源である細井平洲先生(儒学者)と、聚楽園の大仏に着目し、地域学習のためのルート整備や、健康づくりなどのソフト事業を実施し、東海市の文化や歴史に親しむための取り組みを行う。</p>	<p>方針に合致する主要な事業</p> <p>基幹：公園(平洲と大仏を訪ねる花の道、聚楽園公園)、地域生活基盤施設(平洲の歴史を感じるルート整備、平洲と大仏を訪ねる花の道) 提案：地域創造支援事業(平洲記念館リニューアル事業)</p>
<p>多世代住民の交流に向けた、心地よく健康に暮らすことができる住環境づくり</p> <p>・まちづくり交付金事後評価において、地区内の緑が絶対的に不足していることが明らかになったことから、引き続き都市基盤整備を進める中で、街区公園など「点の緑」、道路沿道などの「線の緑」の創出に努める。これにより、生活利便性だけでなく、生活していて心地良く、健康に暮らすことができる子育てに適した緑豊かなまちを目指す。 ・平成16年度からのまちづくり交付金投入により、新住民が増加していることから新旧住民の交流の場づくりを行う。</p>	<p>基幹：公園(平洲と大仏を訪ねる花の道、渡内2号公園始め街区公園整備3カ所、聚楽園公園)、道路(市道細田3号線) 提案：地域創造支援事業(名和南部西地区土地区画整理事業)、障害者地域交流事業 関連：土地区画整理事業(東海渡内地区他2地区)、道路事業((都)名古屋半田線)、荒尾第二2号公園始め街区公園整備2カ所、アダプトプログラム、生垣設置補助制度、社会参加促進事業、中川右岸線、東海市浸水対策事業、いきいき元氣推進事業</p>
<p>まちの魅力維持・醸成に向けた市民参加の環境づくり</p> <p>・まちづくり交付金によって創出される良好な住環境や地域の独自性を維持・醸成するために、アダプトプログラム等による市民・事業者等を巻き込んだ取り組みを促進する。</p>	<p>関連：アダプトプログラム、生垣設置補助制度</p>
<p>その他</p> <ol style="list-style-type: none"> アダプトプログラムなどを通じた地元まちづくり組織や民間企業との連携 本市では、平成16年度からアダプトプログラムを本格導入し、市民や民間企業などが、花壇・公園・緑地・道路・河川などのごみを拾ったり、除草・花の植え付け、樹木や花への水かけをしたりするボランティア活動を推進している。今後、整備する公園・緑地についても、維持管理活動への参画を働きかけることとする。 広域的な緑のネットワーク形成に向けて 本市では、市全域にまたがる主要プロジェクトとして「花・水・緑の基幹軸」という水と緑のネットワーク整備を実施している。今後、本地区に隣接する太田川駅周辺地区についても基幹軸の整備を推進し、基幹軸の確立を目指す。 交付期間中の計画の監理について 交付期間中は、都市整備課が中心となり、定期的に事業進捗状況の確認や、事業遂行上の問題点を報告・議論する庁内調整会議を定期的開催する。これにより、事業遅延等のリスクを削減させる。 	

交付対象事業等一覧表

交付対象事業費	782.7	交付限度額	313.0	国費率	0.4
---------	-------	-------	-------	-----	-----

(金額の単位は百万円)

事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費		交付対象事業費	
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度		うち官負担分	うち民負担分		
道路		市道細田3号線	市	直	L=150m,W=12m	H18	H24	H21	H24	205.2	205.2	205.2	0.0	205.2
公園		平洲と大仏を訪ねる花の道	市	直	L=1,200m	H22	H27	H23	H25	755.0	140.0	140.0	0.0	140.0
		渡内2号公園	市	直	A=2,080㎡	H24	H25	H24	H25	29.7	29.7	29.7	0.0	29.7
		寺徳1号公園	市	直	A=1,420㎡	H22	H22	H22	H22	19.2	19.2	19.2	0.0	19.2
		聚楽園公園	市	直	A=2,400㎡	H23	H25	H23	H25	188.2	188.2	188.2	0.0	188.2
		名和南部西1号公園	市	直	A=1,001㎡	H24	H24	H24	H24	12.9	12.9	12.9	0.0	12.9
河川														
下水道														
駐車場有効利用システム														
地域生活基盤施設(情報板)		平洲の歴史を感じるルート整備	市	直		H21	H25	H21	H25	24.6	24.6	24.6	0.0	24.6
地域生活基盤施設(情報板)		平洲と大仏を訪ねる花の道	市	直		H24	H24	H24	H25	8.2	8.2	8.2	0.0	8.2
高質空間形成施設														
高次都市施設														
既存建造物活用事業														
土地区画整理事業														
市街地再開発事業														
住宅街区整備事業														
地区再開発事業														
バリアフリー環境整備促進事業														
優良建築物等整備事業														
住宅市街地総合整備事業	拠点開発型													
	沿道等整備型													
	密集住宅市街地整備型													
	耐震改修促進型													
街なみ環境整備事業														
住宅地区改良事業等														
都心共同住宅供給事業														
公営住宅等整備														
都市再生住宅等整備														
防災街区整備事業														
合計										1,243.0	628.0	628.0	0.0	628.0

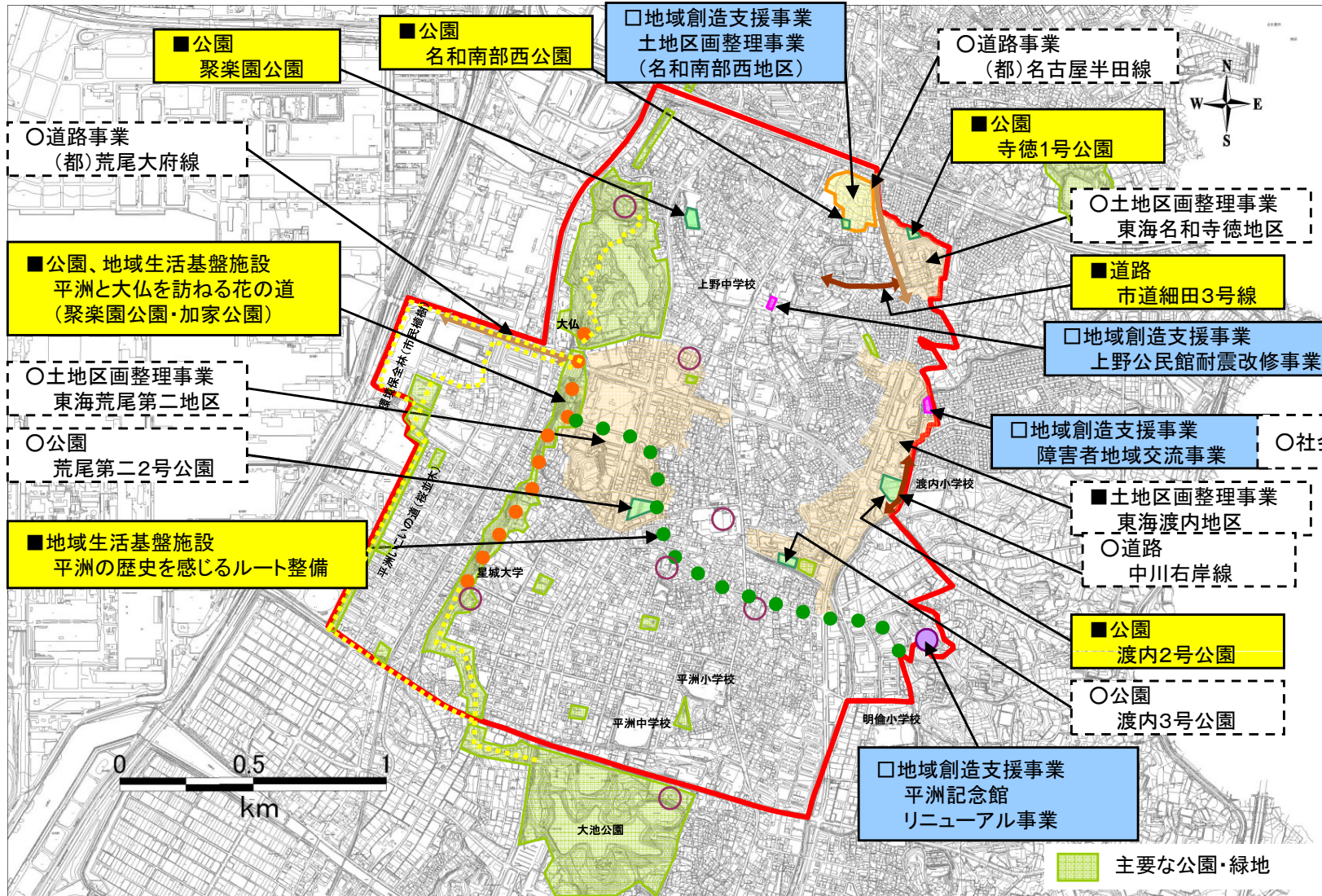
事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費		交付対象事業費	
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度		うち官負担分	うち民負担分		
地域創造	平洲記念館 リニューアル事業	平洲記念館	市	直		H21	H24	H21	H24	15.7	15.7	15.7	0.0	15.7
支援事業	土地区画整理事業	名和南部西地区	組合	間	A=3.3ha	H20	H25	H21	H23	1,076.4	645.8	74.0	571.8	74.0
	上野公民館耐震改修事業	上野公民館	市	直		H22	H22	H22	H22	7.8	7.8	7.8	0.0	7.8
	障害者地域交流事業		社会福祉法人 さつき福祉会	間		H21	H22	H21	H22	55.4	55.4	55.4	0.0	55.4
事業活用調査	事業効果分析調査		市	直		H24	H25	H24	H25	4.2	1.8	1.8	0.0	1.8
														0.0
まちづくり活動推進事業														0.0
合計										1,159.5	726.5	154.7	571.8	154.7

合計(A+B) 782.7

事業	事業箇所名	事業主体	所管省庁名	規模	(いずれかに○)			事業期間		全体事業費	
					直轄	補助	地方単独	民間	開始年度		終了年度
道路	都市計画道路名古屋半田線		国土交通省	L=480m		○			H15	H21	1,045
道路	中川右岸線		国土交通省	L=120m,W=9m			○		H21	H21	14
土地区画整理事業	東海渡内特定土地区画整理事業	組合	国土交通省	A=21.4ha		○			H4	H25	7,318
土地区画整理事業	東海荒尾第二特定土地区画整理事業	組合	国土交通省	A=28.7ha		○			H7	H26	10,294
土地区画整理事業	東海名和寺徳土地区画整理事業	組合	国土交通省	A=3.8ha		○			H18	H22	1,375
アダプトプログラム		市					○				
生垣設置補助制度		市					○				
公園	荒尾第二2号公園	市	国土交通省	A=2,300㎡			○		H22	H28	30
公園	渡内3号公園	市	国土交通省	A=2,430㎡			○		H24	H28	30
社会参加促進事業		社会福祉法人 さつき福祉会	厚生労働省					○			
東海市浸水対策事業		市	国土交通省				○		H25	H29	
いきいき元氣推進事業		市	国土交通省				○		H25	H26	

荒尾周辺地区(愛知県東海市) 整備方針概要図

目標	《郷土の文化と元気が調和した健康で快適に暮らせる緑豊かなまち》 「歴史資源である平洲と大仏を訪ねる花の道づくり」 「多世代住民の交流に向けた、心地よく健康に暮らすことができる住環境づくり」 「まちの魅力維持・醸成に向けた市民参加の環境づくり」	代表的な指標	郷土の歴史などに愛着を持っている人の割合 (%)	49.6	(H19年度)	→	49.6	(H25年度)
			まちの公園・街路樹などに満足している市民の割合 (%)	57.6	(H19年度)	→	65.0	(H25年度)
			子供の教育について学校・家庭・地域の連携が十分だと思える人の割合 (%)	24.5	(H19年度)	→	40.0	(H25年度)



地区全体で取り組む事業

- 事業活用調査
事業効果分析調査
- アダプトプログラム
- 生垣設置補助制度
- いきいき元気推進事業
- 東海市浸水対策事業

○ 歴史的要素

□ 荒尾周辺地区
A=414ha

- 凡例
- 基幹事業
 - 提案事業
 - 関連事業